

令和3年度 大阪府立高槻北高等学校 第2回学校運営協議会 議事録

校名	府立高槻北高等学校
校長名	青竹 二郎

開催日時	令和3年12月2日(木)15:00～17:10
開催場所	府立高槻北高等学校 2階 会議室
出席者(委員)	米津俊司会長、本村康哲副会長、丹家 敬委員、栗原 綾委員、石山浩二委員、柏原泰和委員
出席者(学校)	青竹二郎(校長)、伊藤倫隆(教頭)、岩下幸司(事務長)、相澤 崇(首席)、安田正彦(総合調整部長)、藤塚雅弘(書記)
傍聴者	0人
協議資料	冊子資料 令和3年度 第2回学校運営協議会 次第 学校運営協議会委員、高槻北高等学校名簿一覧 学校運営協議会 実施要項 意見書 様式 令和3年度 第1回学校運営協議会 記録 第2回学校運営協議会 配席図 資料編 1 令和3年度学校経営計画及び学校評価 2 第40回大阪府学校教育審議会 次第 3 令和3年度 教志入門日程 4 44期生教志コース 行事実践中間報告レポート 5 相互授業見学バディシステム 6 令和3年度学校教育自己診断(生徒用)集計結果報告 7 令和3年度学校教育自己診断 第1回自由記述 8 学校教育自己診断質問項目(生徒用・保護者用・教員用) 9 2021年度入試(42期生と既卒生)の入試合格状況 10 令和4年度使用教科書(採択)一覧表
備考	

議題等(次第順)
- 開会宣言(教頭) - 開会挨拶(校長) - 本校の現状と課題 - 資料説明 - 令和3年度学校経営計画の進捗状況(校長) - 令和3年度第1回学校教育自己診断結果について(相澤首席) - 令和3年度第2回学校教育自己診断質問項目について(相澤首席) - 令和4年度採択教科用図書一覧(教頭) - 質疑応答ならびに協議 - 閉会挨拶(校長) - 閉会宣言(教頭)

4 質疑応答ならびに協議

(1) 校長の説明・第1回アンケート結果に対する質問事項

(委員)

実務提要について昨年度から現状に沿った形で見直しを行っており、利用割合の向上に努力されている。
また、進学合格率の向上についての取り組みを伺いたい。

(委員)

自転車通学のマナーについて、KYT(危険予知トレーニング)の手法を活用してはどうか。

(委員)

ベテランと若い先生、教科が違う教員どうしが双方の授業を見学し授業についての意見交換ができる「相互授業見学バディシステム」は非常に良いアイデアである。一方、教員がICTを活用した授業に苦慮している現状を踏まえ、バディシステムの仕組みを活用し、「生徒に授業に対する興味を持たせる技」を継承できればと思う。

(委員)

小学校の正門前で登校途中の北高生・第八中生が小学校の先生・生徒へ朝の挨拶をしてくれており、小学生の良いモデルになっている。また、一般の高校生は入学して目標・進路を考えるのが普通であるが、北高校の教志コースの生徒は入学当初から目標・進路に向かって日々勉学に励んでいる。

(委員)

「相互授業見学バディシステム」を活用して教授技術を向上させ、その財産及び資料を共有できればと思う。
若い教員は教える内容が一番大事であり、指導案を数多く立て授業設計を考えているが、資料を蓄積していくベストプラクティスを構築できれば教員全体が楽になる。
そしてICTを活用する前に紙と鉛筆でやることを残しつつ、効果的に学習することが大事ではないか。
また、学校説明会の状況と受験倍率について伺いたい。

(委員)

「相互授業見学バディシステム」を活用しつつ、資料を共有していく話し合いをスタートさせていくことが大事であり授業の様子を動画に残していく等、先生の財産を学校全体で共有できる環境を作っていくことが大事ではないか。
中期目標の「入学時の進路目標を変更されることなく」について、入学した時は北高に入学することが目標であったと思う。次にどういう大学に行きたいのか、目標とは大学進学ことなのか、またその生徒に夢を与えよう育んでいくのか議論が必要である。

(学校)→大学への進学の実績

42期生は共通テストの元年であり41期生に相当する学年が浪人になることで次年度の国公立を目指すには共通テストが必修になるため共通テストを避け現役を目指した。本校は元々現役志向が強く42期生の頑張りもありこのような成果になったと推測している。
3年計画として現在の1年生が達成すべく、関関同立150人ぐらいを中期目標として設定した。
入口の部分では本年度の受験倍率は1.02倍、昨年度は1.06倍このことについて、私学に進んだ中学生が多いようでまた、コロナの影響で授業内容の進度が遅くなったことも要因のひとつではないか。

(学校)→教志コースの生徒は実習もありモチベーション及び目標が明確に定まっている。

コース以外の一般の生徒については他校と同様に進路別指導を中心に該当の学年に対し進路説明会を行っている。説明会の中では年齢の近い教育実習生に話をしてもらうなど工夫している。
また、今年度から生徒・保護者の三者懇談の日数を合計8日間に増やすなどの取り組みを行っている。

(学校)→令和3年度 第1回学校教育自己診断のアンケート結果について説明がなされ、また教育自己診断は年2回分けて行っており、第1回目は経年変化を見ている。第2回目は府の指示項目を入れて12月に行う予定であることも説明された。

・令和3年度学校教育自己診断第1回自由記述について資料に基づき説明がなされた。

(委員)

校則についての学校側の丁寧な説明と生徒側の理解と納得がない限り、校則の記述は無くならない。
生徒へ言葉が届く方法はないのか。

(委員)

入学した後の生徒への校則等の説明はどうであったか。

(委員)

「成績に入らない小テストを増やす」の記述は、予習・復習の反復を兼ねて実施することが大事である。
「並列運転が多すぎて帰るときに邪魔です。」の記述は、自転車の並列運転が無くなるよう生徒が主体となって取り組み、他校に向かって取り組みの見本を発信することはできないか。
過去に自転車の傘さし運転を北高から無くした実績がある。

(委員)

中学校からの府立高校への出願は、毎年上下があり保護者から進路の希望がありその時点でしか分らない。希望の偏りも読めないのが現状ある。北高校は地元の良い手本になっている。

(委員)

自由記述の「意見を聞くからにはちゃんと改善してほしい」の記述が気になる。
項目にもよるが、生徒に対しての返しが大事ではないか。
生徒本人が発言し、学校が良い方向へ変わっていけば別な事で頑張りが芽生えるのではないか。

(委員)

生徒が学校側に壁を感じているような心配もある。自由記述が例年より少ないようだが、学校側へのあきらめなのか、コロナの影響なのか分らない。生徒会との話し合いが大事。

(委員)

「勉強時間が少ないと思った」の自由記述は、アンケート結果では平均勉強時間は増えている。
コロナの影響がでているのか何か取り組みをされているのか。
かつてトイレ改修の懸案もあったと思うが改善されたのか。

(学校)→勉強時間と塾・予備校に通っていることを別の質問項目とすることも検討しているが、整合性がとりにくい
ため勉強時間として一緒にしている。勉強時間については、コロナの影響でクラブができないので勉強
していたのかはわからない。1・2年生の前期はクラブが中止になり、3年生はクラブを引退していた。
勉強時間の確保については課題である。
各階の西側のトイレを改修したのちはトイレの自由記述は無くなった。

(委員)

記述内容について生徒のケアが必要ではないか。

(学校)→「安心で安全な学校生活を過ごすために」のアンケートもありそのような記述があれば生徒を特定する
ことが可能であるが、実際には学校生活で様子を見ていくしかない。
教員の共通認識の問題として捉えていきたい。

(委員)

先日報道されているように中学生同士の悲惨な事件が起こっている。
教育庁の許可も必要であるが、授業の中で被害者・加害者の立場・気持ち等について生徒に考えさせることと、
事件が起こらないような解決方法なども含め話し合いの場を設けることができないか。

(学校)→子供のころからネット環境が整っている中、コミュニケーションをとおした教育が必要ではないかと思われる。
SNS・インターネット環境の中で起こっていることなど、ゲームなどでは皆が同じ目的で向き合うなかで、
人を傷つけることを競い合っている。
いたましい事件であるが、ゲーム感覚で平気で人を傷つけてしまうことが現実の社会で起こっている。
社会全体の大きな問題である。

(委員)

今のお話を聞きし、昔であれば不安に思ったことは外に出している生徒が多かった。
今は内にこもりお腹が痛い・眠れないと訴えて症状にでているのが多いのではないか。

(委員)

小学校では幅広世代の子供を見ていて「いじめ」はいけない事だと分かっているようだ。
そもそも「いじめ」は何なのか意味が分かっていない。トラブルを見ていて単純に喧嘩として見ずに「ごめんなさい」
で終らず、双方の言い分など気持ちがすっきりするまで話をし、その後どうするかまでやろうとしている。高校では
大人になっていくよう教育を行っていきたい。

(委員) 小学校・中学校・高校・大学をつうじて一番根幹になるどのような人間を育てるのか、どのような人間になってほしいのか、それを根底に次の目標を置くというところまでご尽力いただきたい。 (委員)以上をもって協議は終了いたします。 (2) 第2回アンケート質問項目及び教科書について (委員)教科書については承認された。 (学校)→第2回学校教育自己診断アンケート内容の変更点について説明。 (3) 意見書について (委員・学校) 第1回学校運営協議会の意見書「3年生のクラブの引退の時期等について」の説明がなされ各委員と学校側との意見交換があり、協議の結果、協議会からの意見にとどめることとし協議会が終了した。 (学校)→次回の会議の確認 ・令和4年1月26日(水)14:30開始 16:30終了 ・1年生の授業見学(50分)、令和3年度学校経営計画の達成状況及び学校教育自己診断アンケート結果の協議 以上のことを報告し閉会宣言した。 以上
--

次回の会議日程	
日時	令和4年1月26日(水)14:30～16:30
会場	府立高槻北高等学校 2階 会議室